

2026 CSR報告書 カンボプラス

CSR: Corporate Social Responsibility
第21号



新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します。



企業理念

カンボウプラスは
新しい価値の創造を通じて
豊かな社会づくりに貢献します。

CSR基本方針

カンボウプラスは「社会との共生」、「お客様との共生」、「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客様のニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	8
その他のかかわり	12

カンボウプラスの概要

代 表 者	代表取締役社長 空閑 徹
設 立	1939年3月24日
資 本 金	1億円
決 算 月	3月
従 業 員	155人
主 要 事 業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化による キャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した製品の販売 3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工
事 業 所	本社、東京支店、福井工場
外 部 認 証	福井工場 ISO9001、ISO14001

遮熱資材ブランドなど『新加』製品を

平素よりカンボウプラスをお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。昨年は大阪・関西万博が開催されましたが、会場の様々な場所で弊社の係る幕材料が使用されているのを目にし、シートメーカーとして社会貢献できていると再認識いたしました。これもひとえにご支援いただきました皆様のおかげだと思っております。誠にありがとうございます。

昨年6月1日には労働安全衛生規則の改正により事業者の熱中症予防対策が義務化されました。弊社としては、熱中症対策にお応えできる遮熱素材として、放射冷却機能を有したブランド製品「REI KEEP」をリリースしております。暑さ対策以外にも、環境がキーワードとなるPFAS対応や廃棄物削減等に係る製品の開発、防災減災に関連する開発に取り組んでいます。また、各分野に特化した機能製品の提供を行い、新しいものを加える精神で更なる『新加』を続けていきたいと思っております。また、現在、世界は歴史的な転換期にあり、欧州や中東における長く続く紛争、インド太平洋地域の緊張の高まりなど、国際情勢は予断を許さない状況が続いています。そのような環境下ですが企業努力を怠ることなく、製品の安定供給、品質の更なる向上、技術サービスの充実、職場環境の改善等に努めてまいります。環境への取り組みを意識し、さらにモノづくりを進め、新しい価値の創造を通じて豊かな社会づくりに貢献します。

このたび2025年度の活動をまとめた「2026CSR報告書」を発行いたしました。皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長 空閑徹





当社商品のご紹介

■ 大阪・関西万博での当社製品の採用



2025年4月13日～10月13日の184日間、大阪市・夢洲で開催された大阪・関西万博にて、「ガスパビリオン おばけワンダーランド（日本ガス協会）」をはじめ会場内のパビリオンの素材に当社の製造する素材・製品が数多く採用されました。ガスパビリオンの膜材料には、SPACECOOLフィルムとB種膜材を複合した新膜材料が採用され、その高い冷却機能により空調負荷を軽減できるだけでなくゼロエネルギーで快適な涼しさを提供できる仕組みもパビリオン内で紹介されました。



太陽工業株式会社が協賛された協会催事「太陽のつぼみ」（万博サウナ）では、その壁面に当社の膜材料が採用されました。ケダー式フレームで展張されたグレー色の膜材が、落ち着いたプライベート空間を演出した印象的なパビリオンでした。



■ 次世代救護テントに「REI KEEP empowered by SPACECOOL」が採用



日本赤十字看護大学附属災害救護研究所と太陽工業株式会社が共同開発した次世代の救護テント「GREEN FLEX」に当社の「REI KEEP empowered by SPACECOOL」が採用されました。

「REI KEEP empowered by SPACECOOL」は、SPACECOOL株式会社が開発した光学フィルムと当社シートを複合した従来の遮熱技術を超える冷却が可能な素材です。高い遮熱性と放射冷却機能を有したこの素材を用いたテントは、真夏でも適度な室温を保つことが可能で、災害現場での支援拠点や避難所としての活用が期待されます。

* カンボウプラス株式会社はSPACECOOLプロダクトの正規販売店です

* 「SPACECOOL」はSPACECOOL社の登録商標です



■ 遮熱ターポリン AP320HS ／ スポットエアコンテンツ

猛暑対策の新素材として、遮熱ターポリン AP320HS をリリースしました。

JIS規格で定められた遮熱性試験の最高ランクであるS65+の遮熱性能を有しており、防災性・加工性能も従来のターポリンと同等で、幅広い分野での使用が期待されます。

また、当ターポリンを使用した「スポットエアコンテンツ」も同時開発し、工場内や建築現場での熱中症対策商品としての展開を図ってまいります。

遮熱ターポリン AP320HS

高性能遮熱素材
遮熱性試験 (JIS L 1951) における最高ランクであるS65+の基準をクリアした商品です

防災配合
防炎製品認定番号：FR-08029

Rohs2適合品

生地サンプル

遮熱性試験 (JIS L 1951)

太陽光などから発生する放射熱を生地が遮ることで、温度上昇を抑制する性能を評価するために2019年に改定されたJIS規格です。自然太陽光と近似的な波長分布を有する人工太陽照度灯を用いた遮熱性試験です。遮熱率によってS15からS65+まで7段階のグレードに区分けして評価されます

遮熱率	等級 (JIS)
S65+	S65+以上
S65	S65以上 S65未満
S60	S60以上 S65未満
S55	S55以上 S60未満
S50	S50以上 S55未満
S45	S45以上 S50未満
S40	S40以上 S45未満

試験イメージ

品名	サイズ (mm)	厚み (mm)	重量 (g/m²)	透気性 (m³/m²/24h)		透水性 (mm/h)		遮熱性 (S)	遮熱率 (%)
				標準	最大	標準	最大		
AP320HS	1830×31	0.32	405	164	173	17	23	76	80
遮熱ターポリン	JIS-L-1006							S65+準拠	65+準拠

上記数値は標準的な試験条件での測定結果です。

KANBO PROS

屋外用

熱中症対策

スポットエアコンテンツ

高性能遮熱生地を使用
遮熱率65%以上
(JIS L1951 S65+準拠)
 ※設置環境やスポットクーラーの性能により冷却効果は変わります

■ LOHAS Festa EXPO 2025

2025年6月2日から4日までの3日間にわたり、大阪・関西万博会場内で開催された「LOHAS Festa EXPO2025」に出展しました。

ハンドメイド作品やサステナブルなアイテムがならぶこのイベントで、当社は廃材を利用したコースターを作成できるワークショップを出展し、アップサイクルブランドであるDIGREAL商品の展示即売会も実施しました。

天候が荒れた日もありましたが、数多くの方々に訪れていただき、相撲のまわしに使われる素材を使ったトートバックやテント素材を使用したポーチなどご好評をいただきました。



■ さばえ SDGs フェス

鯖江市の西山公園で2025年9月20日、21日に開催されたSDGsフェスで、カンボウプラスのオリジナル商品、端材を使用した商品等を販売いたしました。たくさんの方々に足を止めていただき、当社の商品の特征と共に事業内容も知っていただく事ができたと思います。

広報委員のメンバーだけでなく、福井工場勤務の方にも協力していただき、DIGREAL商品はじめ、コースターやレジャーシートなど様々な商品を皆様に購入していただく事ができました。また、子供達に体験していただくワークショップのオリジナルボトルケース作りも大好評で、色味やデザインを一緒に考えながら楽しく制作する事ができ、地域の方々との交流を深める事ができました。



品質について

品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。

福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。

福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。

福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

改定 2020年6月1日

品質体制

福井工場では、当社製品を安心してご使用いただける様、安全性・製品品質向上・生産向上のために、係長・班長を中心にグループとなり、積極的に活動に取り組んでいます。

安全性の向上



ゼロ災

- 安全パトロール
- リスクアセスメント
- KY活動

製品品質の向上



小集団活動

- 加工条件の改訂
- 作業手順書の見直し
- 工程検査の徹底

生産性の向上



5Sの推進

- 作業環境の改善
- 定期的な設備点検・清掃
- 5S活動報告会

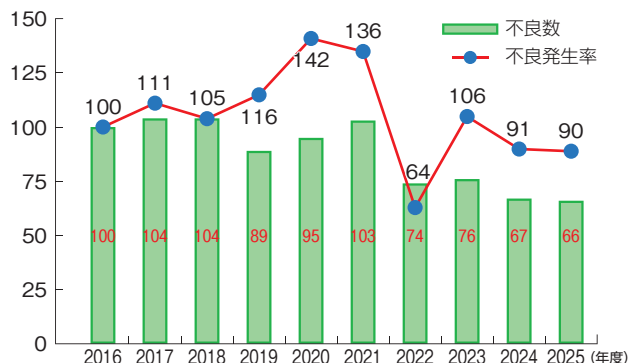
〔安全性の向上〕 職場や作業に潜む危険を早急に発見・把握・解決し、根底から労働災害をゼロにしようという考えのもと最低、月一回のリスクアセスメントの実施を部署ごとに行っています。

〔製品品質の向上〕 工程内管理を確実に実施し、「作業手順書の見直し」「加工条件の改訂」「工程内検査の徹底」などの活動で、不良品発生低減に取り組んでいます。

〔生産性の向上〕 5S活動の推進と設備の定期点検により、突発的な機械故障の防止に努めるとともに、作業環境の改善を通じて生産性向上に取り組んでいます。

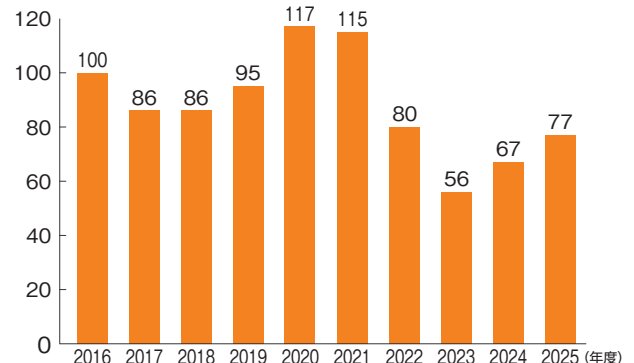
これら様々な活動で、当社製品を安心してご使用いただける様、取り組んでいきます。

不良品発生件数推移



(注) 2016年度を100とした場合の指数表示

苦情発生件数推移



(注) 2016年度を100とした場合の指数表示



環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

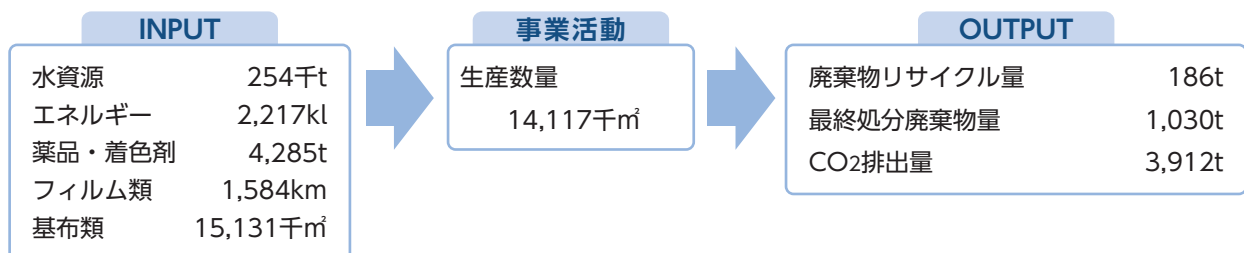
1. 当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2. 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3. 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5. 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。
また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6. 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7. 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、インターネットを含めて全ての人に公表します。

改定 2020年4月1日

事業活動における環境負荷(福井工場)

当社では、事業活動におけるエネルギー・資源の使用量 (INPUT) と環境への排出量・廃棄物量 (OUTPUT) を正確に把握することにより、総合的に環境負荷の低減に努めています。



環境負荷低減製品開発への取り組み

近年、お客様からの環境配慮の要望は新製品開発のみならず、これまでに提供した製品の仕様変更といった形でも増えています。環境推進地域である欧州において様々な化学物質の規制が進められている中、材料選定の見直しや、バイオマス素材の使用など、グリーンな製品設計を進めています。

今後もカンボウプラスでは、様々な要望に合わせて使用する材料の変更を進めるとともに、安全安心の観点からグリーン材料での製品開発に取り組んでいきます。

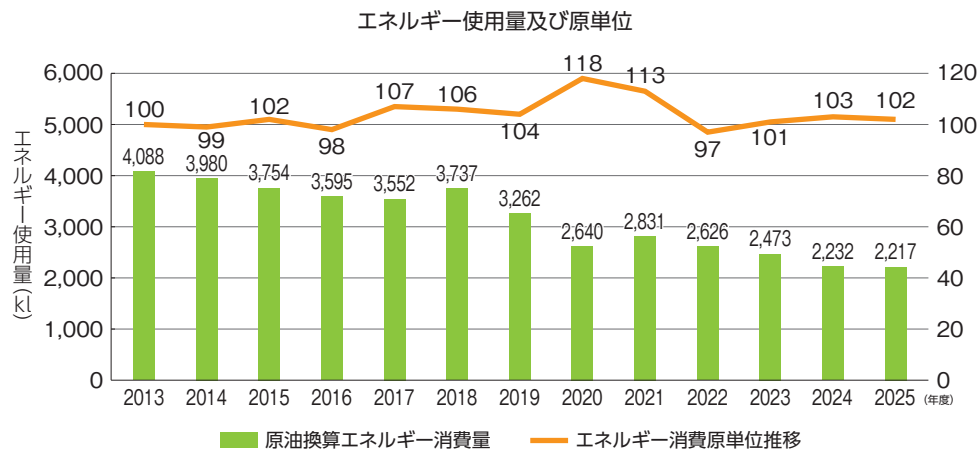


エネルギー消費量削減への取り組み

昨年度は生産設備、事務棟のLED化を実施しました。福井工場の照明のLED化は96%となりました。また高効率モータへの更新を行い使用電力の削減を行いました。蒸気設備関係では蒸気使用量が増加する冬季前にスチームトラップの点検、交換を実施しました。

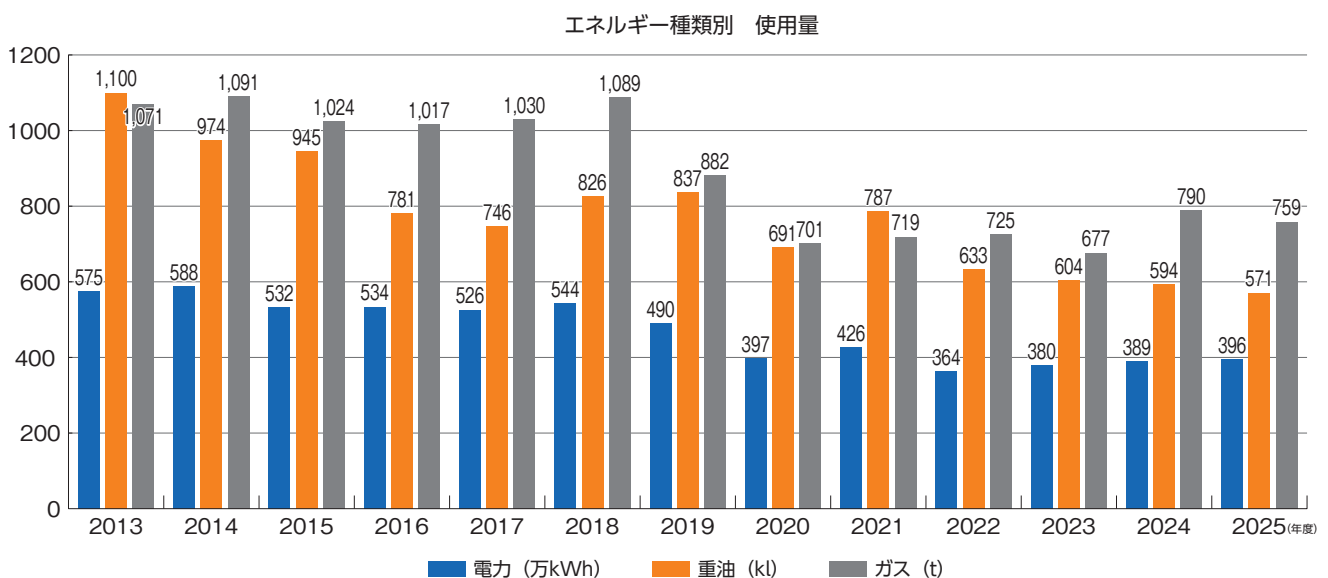
2024年度と比較し生産数量（㎡）はほぼ同量でしたが、エネルギー消費原単位では、前年より約1.5%削減することが出来ました。

引き続き照明のLED化、保温材の補修、スチームトラップの状態監視を継続実施致します。また、本年度は省エネ設備の導入を計画しています。



(注) 2013年度を100とした場合の指数表示となっています。

エネルギー種類別の使用量では、2013年度に対し、電力 31%、重油 48%、ガス 29%の削減となっています。原単位と共に総使用量の削減に努めていきます。



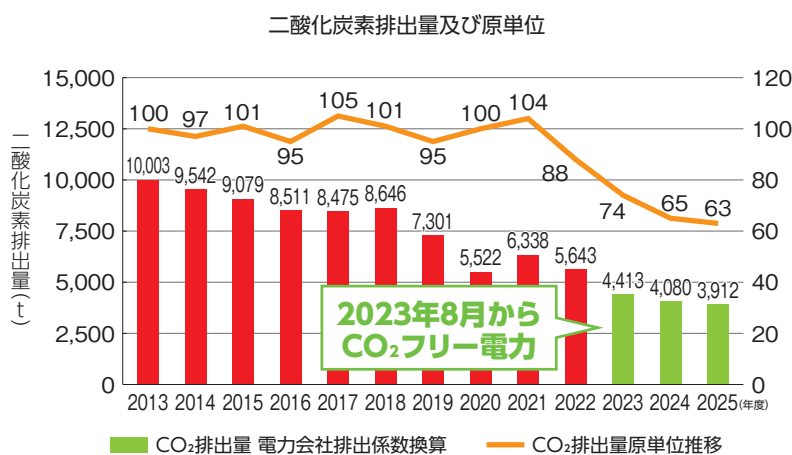


CO₂排出量削減への取り組み

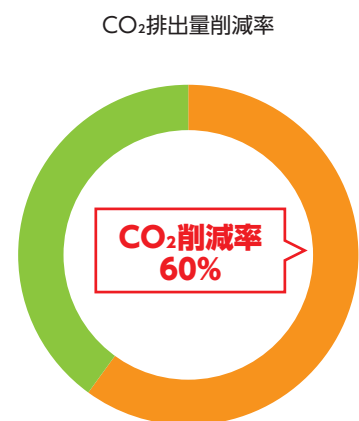
地球環境を考える上で、企業のCO₂排出量削減への取り組みは非常に重要な役割を担っています。CO₂排出量削減の取組として、照明のLED化（水銀灯含む）・省エネ設備導入・CO₂フリー電力の活用・環境負荷低減商品の開発・廃棄物削減の取り組み・クールビズ・ノーマイカーデーなどの取組を従業員一丸となって推進しています。

2023年8月より工場用電力は「再生可能エネルギー指定の非化石証明書の使用により、実質的に、再生可能エネルギー100%」の電力契約となっております。CO₂フリー電力を使用することにより、CO₂を排出する電力を使用する場合と比較すると2023年度で約1,223t、2024年度で約1,847t、2025年度で約1,728tのCO₂排出量を抑制することができています。

CO₂排出量につきましては、2024年度と比較すると昨年度は約4.1%の削減となりました。



(注) 2013年度を100とした場合の指数表示となっています。

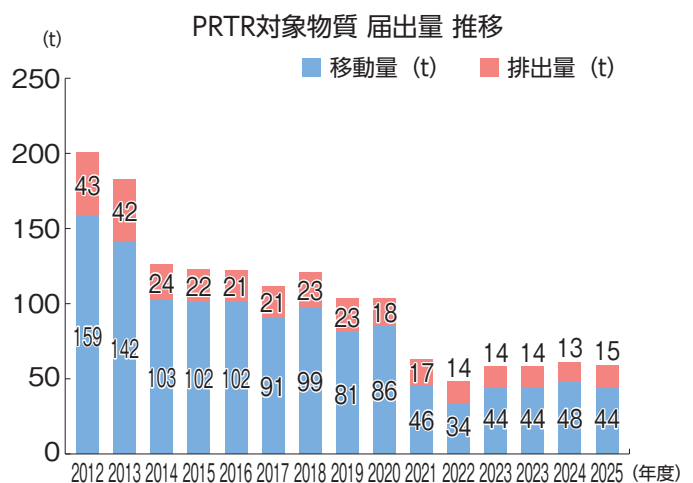


2013年度比

PRTR法への対応

当社では環境負荷低減に向け、PRTR対象物質全体の把握と排出・移動量の削減に努めています。削減を進めてきたDEHP（フタル酸ビス（2-エチルヘキシル））は代替化が進み、2025年度にはほぼ全廃を達成しました。

一方で、2023年度より報告対象に追加されたMCCP（塩化直鎖パラフィン 炭素数14-17）をはじめ、環境への影響が懸念される主要な化学物質が新たな管理課題となっています。今後は、MCCPをはじめとする各化学物質の代替化や使用量削減への取り組みを全社でさらに加速させていきます。

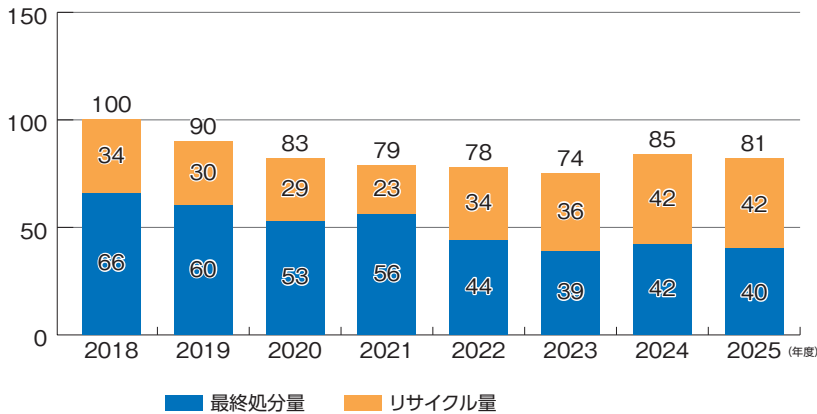


廃棄物削減への取り組み

昨年度と比較して生産量が減少したことに伴い、廃棄物総量も減少しました。

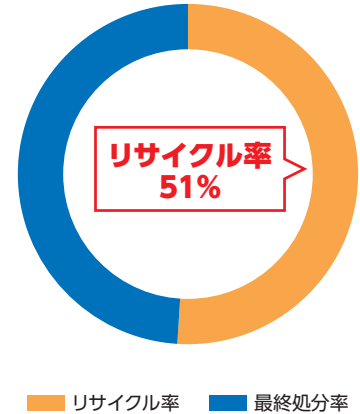
一方、リサイクルおよびリユースの取り組みを推進した結果、リサイクル率は向上しています。今後も、再生が困難な廃棄物の削減を図るとともに、さらなる再生促進に取り組んでいきます。

廃棄物・リサイクル量推移



(注) 2018年度を100とした場合の指数表示となっています。

2025年度リサイクル率



グリーン推進活動

2025年度も「第15回ニチバン巻芯ECOプロジェクト」および「エコキャップ回収運動」に参加しました。

巻芯は、ニチバン株式会社を通じて段ボールに再生することで得られる利益が森の植林活動に役立てられ、ペットボトルキャップは特定非営利活動法人エコ・ワクチン協力会を通じて、プラスチックとして再利用することによって得た利益がワクチン購入代金に使用されます。今後も継続して活動を行っていきます。



当社では、各事業所周辺の美化活動を継続的に実施しています。

本社では、2026年2月に「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に参加し、空き缶や吸い殻などのゴミ拾いを行いました。



[<https://www.pvc.or.jp/contents/index/index125.html>]

Topics

1

新素材開発から産学連携まで。可能性を広げる素材メーカー／カンボウプラス株式会社

お話しいただいた久保教授、鶴長さん、松本氏、中村社長

素材メーカーとして日本の産業を変えてきたカンボウプラス㈱。2025年に開催された大阪・関西万博ではSPACECOOL㈱が開発した新素材「SPACE COOL®」を活用した素材、「REI KEEP Empowered by SPACECOOL」(以下、REI KEEP)の特注品が採用され、イベント「ロハスフェスタEXPO2025」でアップサイクルの商品を販売。また、未来を担う学生との「産学連携プロジェクト」を実施するなど従来の素材メーカーの枠を超えていく同社の取り組みをご紹介します。今回は、カンボウプラス㈱ 中村信治代表取締役社長、松本夏津子氏(東京営業部)、学校法人 文化学園 文化ファッション大学院大学(以下、BFGU) 久保幸子教授(ファッションクリエイション専攻 ファッションテクノロジーコース)、同コースの院生、鶴長ありささんにお話を伺いました。

下記URLからもお読みいただけます。

PVC news | 塩化ビニル環境対策協議会

緊急事態への備え

2016年4月1日より「事業継続マネジメントシステム（BCMS）」の運用が始まり、BCMSに関する教育・研修を継続的に実施しています。2018年12月には、震災や台風などの自然災害、テロなどの人為災害における非常時の従業員の安否確認のため、警備会社の「安否確認サービス」を導入しました。より迅速に従業員の安否が確認できるように日頃からの訓練等を実施しています。

福井工場では、火災などの緊急事態に備え、定期的に消火訓練および避難訓練を実施しています。

さらに、迅速かつ安全な避難行動を確保するため、日常的に3S活動（整理・整頓・清掃）を推進し、安全性の向上に取り組んでいます。



公的資格取得の推進

2012年度に従業員の能力向上と自己啓発を促進するため、公的資格支援規定を策定し、様々な資格に対して合格祝い金を支給する等、従事業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の取得を進めています。

2025年度は本社、東京支店、福井工場の従業員が11件の資格を取得しました。

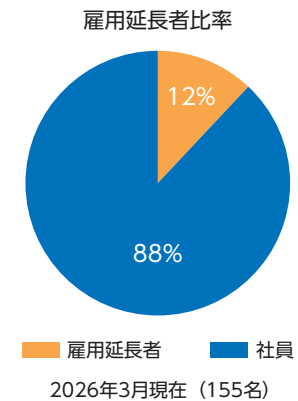
■主な公的資格取得者数

資格名称	取得者数(名)
特定粉じん関係 公害防止管理者	1
エネルギー管理士	1
2級ボイラー技士	1
車両系建設機械（整地等）運転技能講習	1
高所作業車運転技能講習	1

雇用

2006年度に60歳で定年を迎えた従業員に対して再雇用制度を創設し、雇用延長者の知識やキャリアを生かして若年者従業員の育成などを行っています。また、2012年度には、年金不支給期間の対応として、65歳までの雇用延長制度を確立し、2013年度には雇用延長者に評価制度を導入し、仕事への意欲を向上させる為シニア制度規定を制定しました。

2025年度は定年退職者数6名の内、6名全員が雇用延長しました。



従業員への教育

人材育成を経営重要課題と考え、職種別研修、階層別研修、自己啓発のための通信教育支援などを実施しています。また、定額制社外研修制度を設け、社外ビジネスセミナーへの参加も実施しています。

2025年度もWEBシステムを活用した社内研修やオンライン英会話を継続して実施しています。今後も従業員教育の充実を図り、社会から愛され信頼される企業であり続けるため、従業員の能力向上に努めていきます。



2025年7月 安全講話

内部通報制度

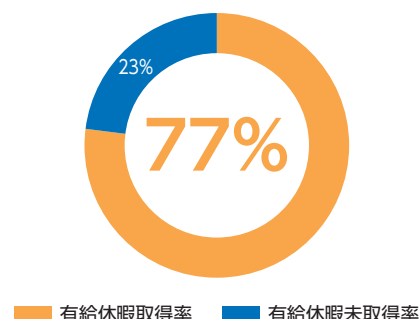
当社は違法行為防止、早期発見及び是正を図るため「カンボウ・ヘルプライン」と呼ばれる内部通報制度を設けています。

全従業員を対象に2025年9月にコンプライアンス研修を実施しました。今後も内部情報提供者の保護とともにコンプライアンスの強化を図り、ハラスメント教育にも努めていきます。



2025年9月コンプライアンス研修

2025年度 従業員年次有給休暇取得率



休業労働災害件数



健康経営優良法人
認定証
(中小規模法人部門)

法人名 **カンボウプラス株式会社**

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2026
(中小規模法人部門)」として認定し
継続的な取組及び厚生労働省と共に、今後一層
健康を促進することを期待いたします

2026年3月9日

日本健康会議

日本健康会議
認定書
2026年3月9日

カンボウプラス株式会社

〒541-0054

大阪府中央区南本町1-8-14 JRE堺筋本町ビル

TEL 06-6262-1277 FAX 06-6262-9419

URL <https://kanbo.co.jp/>